

【工学部フレックスコース】

1 募集人員

学科名	募集人員
システム創成工学科	5人

2 趣旨

システム創成工学科は、「自ら考え、手足を動かし、学ぶ」ことにより、企業内の技術的リーダーや起業家となるような独創的な「人財の育成」を教育目標に据えた新しい発想の学科です。

従来の工学系分野の枠にとらわれることなく、例えば機械工学とバイオ化学というように、複数の分野を学ぶことが可能となっています。そのことにより、学際的視野を持ち、ものづくりの基本を修得し、企業内での技術的貢献のみならず経営にも参画しうる「人財」を養成することを可能としています。

上記のようなコース・学科の教育目標に鑑み、これまでにない先進の入学選抜方式として訪問型総合型選抜を実施しています。これは、従来の入学試験では推し量れないような才能や能力などを多面的に評価し、将来性豊かな人の発掘を目指したものです。

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では志願者の居住地（日本国内ならばどこでも）を面接担当者が訪問して行う面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を、調査書、志望理由書及び自己PR書により判定します。

第2次選抜では入学志願者本人に時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、システム創成工学科の教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、勉学意欲、技術者としての適性ならびに社会人基礎力と言われる「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」等、多角的な観点から入学志願者の能力と将来性を測ることとしています。

3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を令和5年3月修了見込みの者
 - (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
- なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅰ及び本学の総合型選抜Ⅱには同時に出願することができません。

4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間
令和4年9月1日（木）から9月6日（火）まで（土・日曜日を除きます。）
※持参・郵送ともに9月6日（火）まで（必着）
受付時間は、9時から16時30分までとします。
（注） 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。
- (2) 出願書類の提出先
工学部入試担当（21ページ参照）に提出してください。

5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<p>○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトからA 4 タテ片面でカラー印刷してください。</p> <p>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日（金）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。</p> <p>なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</p>
調査書	<p>○ 出身学校長が作成し、厳封してください。</p> <p>ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</p> <p>※ 高等学校又は高等専門学校等における学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任を持って推薦できる者については、調査書に④と標示することを希望します。</p> <p>また、④標示を合否判定の資料としても使用します。</p>
志望理由書	<p>○ 所定の用紙を本学ホームページからA 4 タテ両面で印刷し、「システム創成工学科を志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」及び「卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）」に分けて、各事項について400字以内で記入し、提出してください。</p>
自己PR書 【工学部用】	<p>○ 所定の用紙を本学ホームページからA 4 タテ両面で印刷し、①特別活動（部活動）や、学校外の活動等で成果を上げるよう努力した、②通学距離が長いにもかかわらず、徒歩で通学しながらも校内で上位の成績を維持した等、PRしたい内容を800字以内で記入し、提出してください。</p> <p>○ PRしたい内容については、自己PR書の所定欄に、学校長又は学年主任等からの証明を受けてください。</p>
出願書類提出用 角形2号封筒	<p>○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。</p>
出願書類提出用 宛名シート	<p>○ インターネット出願サイトからA 4 タテ片面でカラー印刷してください（入学願書と同時に印刷できます。）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。</p>

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（21ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

6 選抜方法等

(1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書を参考にし、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。配点は次のとおりです。		
	調査書	志望理由書	自己PR書
	20点	50点	30点
採点・評価基準	志望理由書では、自身の将来像が示され、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR内容をもとに、主体性や実行力などの前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力等、多角的な視点から入学志願者の能力を評価します。		
合否判定基準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

(2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和4年10月11日(火)～10月21日(金)までの期間で本学部が指定する1日(土・日曜日に入試を行う場合があります。)		
時 間	調整の上、決定		
科 目 等	面接(口頭試問を含みます。) 口頭試問における出題範囲は次のとおりとします。		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">出題範囲</th> </tr> <tr> <td> 数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域 理科：①物理基礎の全領域 ②次から自分の希望する一つを試験当日に選択 (1) 物理のうち「様々な運動」 (2) 化学基礎の全領域及び化学のうち 「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」 英語：英文の基礎力 (コミュニケーション英語基礎, コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ) </td> </tr> </table>	出題範囲	数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域 理科：①物理基礎の全領域 ②次から自分の希望する一つを試験当日に選択 (1) 物理のうち「様々な運動」 (2) 化学基礎の全領域及び化学のうち 「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」 英語：英文の基礎力 (コミュニケーション英語基礎, コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ)
出題範囲			
数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域 理科：①物理基礎の全領域 ②次から自分の希望する一つを試験当日に選択 (1) 物理のうち「様々な運動」 (2) 化学基礎の全領域及び化学のうち 「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」 英語：英文の基礎力 (コミュニケーション英語基礎, コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ)			
選 抜 方 法	<p>面接(口頭試問を含みます。)を1時間以上行います。 なお、面接(口頭試問を含みます。)では出願書類を参考にします。 配点は次のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">面接(口頭試問を含みます。)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table> <p>面接会場は、基本的に第1次選抜合格者の在籍する学校あるいはその近隣の施設等とします。複数の面接担当者が面接(口頭試問を含みます。)を行います。</p>	面接(口頭試問を含みます。)	100点
面接(口頭試問を含みます。)			
100点			
採点・評価基準	面接(口頭試問を含みます。)は、基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力などを総合して評価します。		
合否判定基準	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接(口頭試問を含みます。)の結果により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。 		

◎ 第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

7 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和4年9月26日(月)11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終(第2次選抜)合格者発表 令和4年11月1日(火)11時	

(注) 1 電話等による可否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和4年11月14日(月)～11月17日(木)(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和4年11月17日(木)までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

(2) 入学料

入学手続の際に納付していただきます。

○入学料：141,000円

(3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項(入学辞退について)

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和4年11月17日(木)までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和5年2月17日(金)までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額267,900円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

10 入学前の指導

(1) 入学前教育について

本学部では、合格者に対し、入学後の学習が順調に進むように、学習教材を指定してe-ラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に、数学、理科及び英語については、工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり、ここでのつまずきは、入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので、合格者全員が受講するようにしてください。

なお、費用に係る詳細は、合格通知書の送付時にお知らせします。

(2) 令和5年度大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

令和5年1月に実施される大学入学共通テストの下記指定科目について解答し、自己採点結果を工学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます）。

大学入学共通テストの数学及び理科に関する指定科目については、高等学校の学習体系・進度に合わせ、1科目でも構いませんが、高等学校において学習している場合は、それぞれ2科目について自己採点し、その結果を提出してください。

なお、提出に係る詳細は、合格通知書の送付時にお知らせします。

教科	大学入学共通テストの指定科目
数 学	「数学Ⅰ， 数学Ⅰ・数学Aから1」と「数学Ⅱ， 数学Ⅱ・数学Bから1」の計2科目
理 科	物理， 化学， 生物から2科目
外 国 語	英語（リスニングを含みます。）